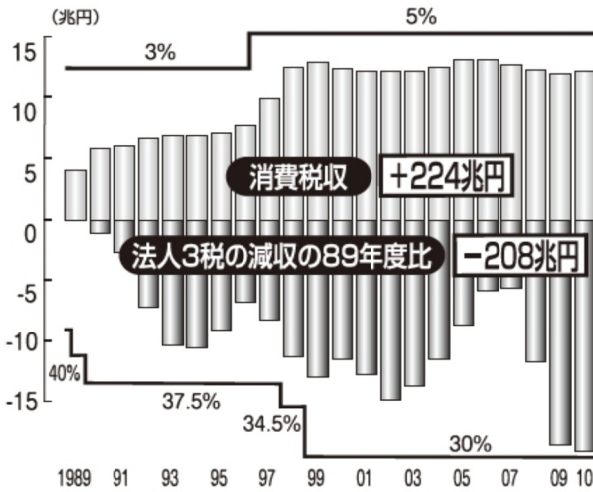




消費税収と法人税の減収額(89年度比)の推移



# どこに消えた 消費税？

消費税は福祉のためといわれて導入されました。しかし社会保障は悪くなるばかり。この21年間に消費税の税収は224兆円です。しかし、同じ時期に大企業などの法人3税は、相次ぐ減税と景気の低迷のなかで、208兆円の税収減になっています。

これではまさに、消費税収が、そっくり法人税の穴埋めにされてしまっただけで、消費税がどこに使われているのかの「仕分け」が、まず必要です。

最近、消費税率を10%に引き上げるなどの声が大きくなっていますが、消費税率がどこに使われているのかの「仕分け」が、まず必要です。

## 東京5地域会社統合

- ・業務の複合化に不安
- ・事務室内の移動も大変
- ・2週間前に配属先不明



統一会社の本社となるNTT新宿ビル

東京地域の5つの地域会社（東京南、東京中央、東京北、東京東、東京西）は、7月1日付けで1社（NTT東日本ー東京）に統合されました。

この統合は、社員数の減少に対応し、従来の枠組みを越えて仕事の見直しを進めるとしています。例えば局外系では、これまでの線路、宅内、専用線保守の各業務を統合することにになります。

事務室内の移動も大変なほど詰め込まれて、作業をさせられています。また、新会社移行2週間前に、どこで働くか、どんな仕事をするのか会社説明もない、という状況も一部にありました。NTTは、コスト削減ばかりでなく、まず、安心して働ける条件・環境を整えるべきです。

## テルウェル東日本 パート社員に賃下げ・超勤未払い

昨年5月、テルウェル東日本・横浜の電報受付業務等をしている職場で、パートタイマー社員に「契約社員」への移行の呼びかけがありました。てっきり待遇が改善されるのだろうと思ったところ、①勤務時間30分の延長。②チーフ手当2万7千円減、というひどい内容でした。

そこで、契約社員への移行を拒否したところ、無慈悲にも会社は、これまでの週5日間のパートタイマー勤務を週4日間に変更してきました。思い悩んだAさんとBさんは、地域の労働組合（神奈川県ユニオン）に加入して、理不尽なや

り方は許せないと交渉を重ね、たたかっています。また、就業規則に明示せず、周知もされずに、時間外労働が2時間を超えたとき、チーフは15分間、一般は10分間が休憩時間として、一方的に時間外手当から差し引かれていることなど、信じられないような不当な扱いをしていることも明らかになりました（現在は和解交渉中）。

このように、勤務時間や賃金や手当などは、会社が正当な理由もなしに、一方的に改悪することは、法律違反となります。

一方的な労働条件の不利変更は出来ない

## 映画紹介 15

原作はドイツの作家ベルンハルト・シュリンケの『朗読者』。文学に興味のある方は「あの本か」と思い出すほど人間の誇りと歴史の悲しみを描いてベストセラーになった作品です。

## 愛を読む人

### 08年 アメリカドイツ合作

1958年のドイツ。マイケルは15歳の夏、21歳も年上のハンナと恋に落ちます。

5年後、マイケルは、大学の研修でナチの大量虐殺に関わった人々の裁判の被告席にハンナの姿を消します。

「正義」を裁く法廷の限界を突きつけます。（DVDレンタル可）

ハンナはマイケルに本を読んでほしいとせがみマイケルはさまざまの本を読んで聞かせますが、ある日突然、彼の前からハンナとナチスの親衛隊員としてホロコーストに加担した罪を問われていま

姿を見つめます。その裁判で明らかになったハンナの過去。彼女は少しも良い職に付こうとナチスの親衛隊員としてホロコーストに加担した罪を問われていま

毎日送られてくる収容者を収容しきれず、入れ替えて送り出された人々はガス室に送られていきました。そんな状況の中でハンナは「あなたならどうしましたか？」と裁判官に問いかけます。そこには、私たちに法の下に